

福島県PTA連合会会報
第17号_S59.03.05

新・連P
ふくしま

53-5 内会館
13-1 印刷所
電話57-1071

53-5 内会館
13-1 印刷所
電話57-1071

53-5 内会館
13-1 印刷所
電話57-1071



新しい方向への着実な一歩 — 県連Pこの一年の歩み —

県連P 会長 **阿部 光寿**

「健全育成団体」を 自覚し志向した年

教育論議のますます盛んな時です。PTA過去三十年の歩みの中で、今ほど、学校で、家庭で、職場で、PTAで、子供の状態を真剣に心配し、本気になって「さて、今私たちが何をすべきか」を考え合った年はなかったように思われます。

原町大会の成功

その意味で象徴的だったのは、県P研究大会原町大会だったように思います。松平知事、辺見教育長お二人のご参加、藤山一郎氏の講演も特記すべきものではありましたが、何よりも、そのテーマ「二十一世紀をにやう人間性豊かな子供の育成をめざす創造的なPTA

健全に育つために、先生と親とが勉強し合い行動する団体」であって、県連Pの活動も、単Pの活動も、研修会も、この方向へと集約されつつあります。

十周年を迎える県連P安全互助会

県連Pの事業である安全互助会は、今年度の目標であった八十%の加入率をほぼ達成中で、今後共、絶大なご協力を願う

PTAが必要な時はなく、また、「PTAは本来何を第一義を改めて問われた年もなかったようだ。PTAは本来、「子供が

活動を推進」に、真剣な議論が集中したことでしょう。この大会をひとつの契機として、さらにこの須賀川大会へとPTA活動の前向きな見直し— 討論と試行の輪が広がって行くことを期待します。

地元原町の連Pの皆さん、事務局原町三小の先生方のご苦勞を多としたいと存じます。

おめでとう

文部大臣賞

日P会長賞に輝く

昭和五十八年十一月十一日、鮮やかに光黄映える東京ホテルニューオータニ鶴の間において、日本PTA創立三十五周年記念式典が挙行された。

式典には、皇太子殿下同妃殿下のご台臨をいただき内閣、衆参両院の代表、文部大臣をはじめとして多数の来賓臨席のもとに、優良PTA及び功労者に対して、文部大臣及び日本PTA全国協議会会長より表彰が行われ本県では、次の団体・個人が、表彰に輝いた。



(喜びに湧く受賞者)

- ◆文部大臣表彰受賞者
 - 団体
 - 白河市立白河第二小学校PTA
 - 南会津郡南郷村立南郷第一小学校父母と教師の会
 - 個人
 - 菅野 久俊 (福島二小P前会長)
- ◆日P会長表彰受賞者
 - 団体
 - 須賀川市立阿武隈小 学校父母と教師の会
 - 会津若松市立第一中学校 学校父母と教師の会
 - 個人
 - 菅野 久俊 (福島二小P前会長)
- ◆日P会長感謝状受賞者
 - 国井 庄八 (二本松一中P会長)
 - 太田 豊彦 (原町二小P会長)
 - 細井 冷一 (田島小P前会長)
 - 齋藤 浩一 (飯野中P会長)
 - 菅野 宗一 (月館中P会長)
 - 大川原 実 (桑野小P会長)
 - 薄井 勝利 (須賀川一中P会長)
 - 相楽 一重 (石川小P会長)
 - 山上 俊朗 (常葉中P会長)
 - 菊地 龍太 (矢祭中P会長)
 - 小林 次郎 (河東二小P会長)
 - 五嵐司周司 (坂下小P会長)
 - 星 毅一 (高田一中P会長)
 - 金田 吉昭 (喜多方二中P会長)
 - 室井 絃一 (田島小P会長)
 - 鷲 佳弘 (平一中P会長)
 - 川井 利治 (大熊中P会長)
 - 長沢 利枝 (大甕小P副会長)

＜伊達＞ 子供とのふれ合いを求めて 月館中学校 P T A

P T A 活動は今、一つの節目にある。それは生徒の諸問題が、直接保護者である P T A 会員の問題として受け止めなければならぬことが表面化してきたことである。

このことから本校では学年 P T A、方部 P T A 委員、及び本部との一体化した組織の改善をし、P T A と、生徒との共同活動の重視。

また会員の自主活動による研修活動の充実



(文化祭での活動)

その二 体験学習

地域産業の理解と勤労経験の場として、モモ、リンゴの摘果(花)の実習を 農協、P T A 会員の果樹農家で一日実習を実施している。学年を越えた班編成と農家で過ごす一日は厳しいようだが部活動では得られる貴重な体験となっている。

の三点について努力してきた。この中の P T A と生徒の共同活動について述べてみたい。

その一 全校登山

安達太良山、磐梯山、吾妻山の三山を、三年で無事故登山し、三年生にとっては、またとない思い出になったと思う。

この登山には、P T A、町山岳部と校医さんまで積極的に参加し、安全確保に努めている。登山指導は町山岳部によって行われ、登山中の行動も一任している。

また、P T A の参加者も毎年多くなり、大自然の中でみつめる我が子、我が親には新鮮なものが、多いという。

その三 文化祭

生徒の文化面への協力ということ、バザーを中心に親子の活動を実施してきた。

今迄町の文化祭には別な日に参加協力してきたが、今後は、学校と町の協力による文化祭も検討してほしいとの申し出もあるので、P T A としても企画の段階より積極的に参加したいと考える。今後これまでの成果をふまえ、生徒とのかかわり合いをいっそう深めて行きたい。

特色ある P T A 活動

＜東白川＞

ひびきあい高まりを めざして

棚倉小学校 P T A

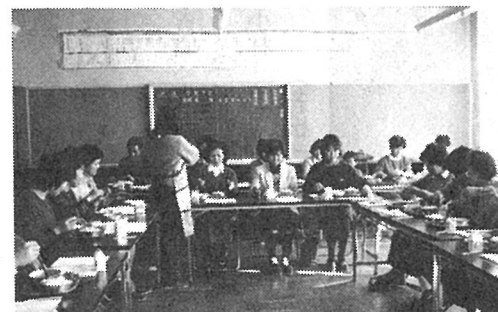
本校は、棚倉城跡のすぐ東側に位置し、明治五十年十二月創立の歴史と伝統を誇る学校であり、児童数は現在、八一二名の東白川郡一の大規模校である。

- (3) 厚生委員会
- 廃品回収
- 球技大会
- (4) 校外生活委員会
- 校外生活キャンプ
- 交通安全街頭補導
- (5) 学年代表委員会
- 父親学級
- バザー

本校父母と教師の会は「ひびきあい、高まりをめざす」ことを合言葉に、児童のすこやかな成長をはかることを目的として計画的、積極的に各種の事業を進めている。

これらは、次の五つの委員会によって行われている。

- (1) 広報委員会
- 会報「さくらしみず」発行
- 広報「こだま」発行
- (2) 教養委員会
- よつば学級活動(家庭教育学級として発足し十五年の歴史を持つ)



(給食試食会の様子)

従来、学習内容は、レクリエーション的意味合いの強いものであったがこの傾向を改め「しつかり学び生かすことができる学習」を基本に、今年度は、次の学習課題を通して学び合っている。

- (1) 給食センターの見学
- 見学や試食会を通して学校給食への理解や栄養と発育について学習した。
- (2) 棚小児童を考える
- 児童の健康をテーマに保健指導及び身体虚弱児学級の教育等を学習した。
- (3) 遺跡発掘現場の見学
- 町内の遺跡発掘現場を見学することにより、古い歴史を有する本町への関心を高め、同時に町民としての誇りを持つことができた。
- (4) 成人大学講座への参加
- 町の行う成人大学講座とタイアップして、家庭教育についての学習を深めた。

昨今、子供たちをめぐるさまざまな問題が社会的に深刻化している。私たちは、現状を正しく見つめ、本会の目的に即してしつかり対処していく考えである。

〈南会津〉

四校PTA連携による地域活動

―児童生徒の健全育成をめぐり―

田島中学校PTA
田島小学校PTA
栗生沢小学校PTA
田島第二小学校PTA

長発達を援助していきこう

という考えから四校PTA連絡協議会を結成した。

2 組織

四校のPTA役員、総務委員長、教養委員長、補導委員長及び四校の校長、教頭、教務主任、研究主任をメンバーとし、補導・研修・総務の三部会を設け活動している。

3 主な活動内容

(1) 補導部会

○ 小中連携による巡回補導

○ 小中連携による交通指導

(2) 研修部会

○ 学区内の環境整備の開催

○ 小中合同「地区懇談会」の開催

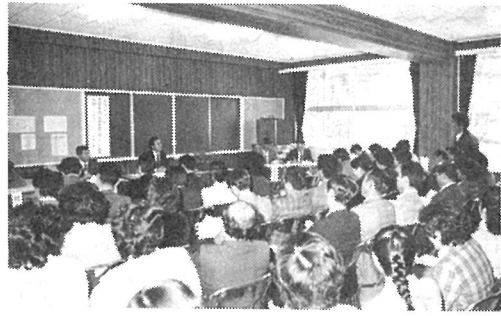
○ 家庭教育学級の推進と奨励

(3) 総務部会

○ 関係機関との連絡調整
○ 調査、広報活動
○ 各部活動の連絡調整

4 主な実践活動

(発表会での熱心な討議)



(1) 小中学校合同地域懇談会の開催

四つの協議会を設け、昨年から本年にかけて五地区を選び実施してきた。

(2) 小中PTA合同による巡回補導

祭礼、お盆、夏季休業中における巡回補導の実施。

(3) 官民合同懇談会の実施

PTA、町商工会、警察署の参加を得て、情報交換や非行防止対策について協議し効果をあげてきた。

(4) 四校合同「家庭教育学級」の推進

5 活動の成果と今後の課題

(1) 四校のPTAが組織的に連携し合い、共通の目標をもつて活動できたことは大なる成果である。

(2) 会員の間に関心育成に対する関心が高まり、連携による活動の重要性が認識されてきた。

(3) 地域住民に対しても組織的活動の趣旨について理解を深める必要がある。

特色あるPTA活動

〈いわき〉

学校教育後援活動と自主研修

平第一中学校PTA

本校PTAは、

父母と教職員とが協力して、学校と家庭・社会における生徒の幸福な成長をはかることを目的とし、昭和二十二年五月学校教育目標具現化の後援団体として創設された。

以来この趣旨をPTA会員相互の研修活動の基本方針としてしている。

主な活動目標は次の四項目である

(1) よい父母、よい教職員となるよう努める。方策として、話し合いの場を多くし新しい教育についての理解につとめ、学力向上の諸施策に協力できるようにする。

(2) 家庭と学校との密接な連絡によって、生徒活動を補導し援助する。

授業参観・学年・学級

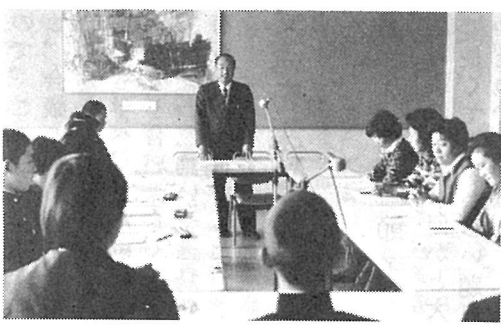
懇談会等に率先参加する(六五%以上)、毎月五日は、自由授業参観日と定め、父母誘い合つて参観している。

また、各学年では学期一回「教育を語る会」を開催し、わが子の教育の在り方を研修する。

(3) 地域と協力し、生徒の生活環境をよくする。

(4) 公教育費を充実することに努める。

学習指導の現代化をはかる教育機器等の充実の



(親子座談会)

ための援助に力を注いでいる。

以上四項目の具現化のため更に、次の専門部活動の自主運営により会員の研修活動を進めている

① 教養部 PTA 研修の場の設定、広報「大樹」の発行、特に今年度は、豊かな心を育てる親子の対談・わたしの教育論などを主題として、研修を進めた。

② 厚生部 Ⅱ 学級・学年・地域間の協力態勢をはかるため、球技大会を開き懇親を深めた。また、生徒会 JRC と協力して、療養園訪問等生徒と一緒にボランティア活動をして

いる。

③ 生徒指導部 Ⅱ 地域ごと隣組単位の生徒指導の組織づくりを進めた。

④ 図書部 Ⅱ 父母の読書感想文募集・読書座談会を開き研修を深めている。

本校 PTA は、方部・市連 P との連携を強めながら、これらの活動を進めている。ちなみに、本校 PTA は、いわき市連 P 発足以来二十九年になるが、現在を含めた二十四年間市連 P 事務局校の大任を果たしている。

第四回県PTA母親リーダーセミナー 母親の役割を深める

10月・11月県内四地区で開催

県連P研修委員会の事業の一つとして、第四回県PTA母親リーダーセミナーは、五十八年十月・十一月にかけて、県内四地区（県北・県中・県南・会津・浜）において開催された。講師は、県社会教育課主事・齋藤健一先生・参加者は、各地区で現在PTAのリーダーとして活躍なされている母親で、一地区四八名・計一九二名である。

県北地区

有意義な一日

森合小学校厚生部 大槻まり枝

去る十一月十五日、県北母親リーダーセミナーが、県社会教育主事齋藤先生を講師とし、約五十名の参加で開かれました。県北の各学校から参加するに、絶対のお天気に恵まれ、会の進行にも一段と明るさを感じました。

PTA母親リーダーとしての資質の向上をめざし、PTA活動のあり方並びに母親としての役割についての研修と、PTA相互の交流を計ることを主旨に進められました。母親リーダーとして、各種会合をもつ機会が大変多いということもあり、資質の向上を計る為、司

この会のクライマックスである演習の内容の発表が、グループごとに行われました。

テーマが身近で母親として関心のあることだけでなく、それぞれが真剣に聞き入り、会を盛会のように終了致しました。どの人の顔も参加して



習を行いました。それですつかり親密となったグループと昼食を楽しい語りの中でいただき、午後には、ゲームのとり入れ方を学ぶ為のゲームに、すつかり夢中になり益々皆さんと交流し合えることが出来ました。午前中の緊張が、すつかりリラックスしたころ、

県中県南

PTA相互の交流を深めて

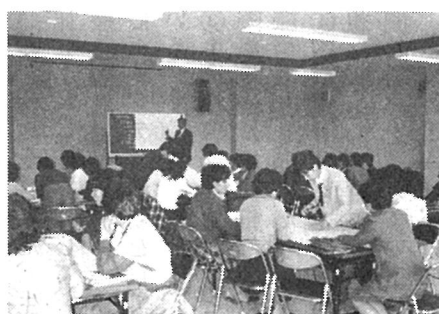
須賀川二中

PTA副会長 榎田節子

よかつたという充実感に満ちあふれ、一日がとても短かく感じました。男性のような社会的立場におかれてない私たちが母親には、会を運営する等不得手、その上リーダーとしてなどとてもな

いといつた感がありますので、この研修会に参加し、会議の進め方・PTA活動をどう進めればよいかも学べ、また色々の方と知り合い楽しく過せて、一石二鳥いや三鳥の有意義な一日でした。

福島県PTA母親リーダーセミナーに参加させていただきましてほんとうに幸せだったと思えます。県中県南各地方より四十八名の参加者をして講師先生には県教育庁社会教育主事をなされておられます齋藤健一先生をおむかえしての研修会でした。PTA母親リーダーとして資質の向上をめざしPTA活動のあり方並びに母親としての役割等について深めまた県内PTA相互の交流を深めてまいりました。主題として子供の健全な成長、発達を促進するためにPTA活動における母親の役割を考えると共に単位PTAにおける各種会合の司会の仕方や話し合いの進め方を身につける。または子どもの非行化防止をはかるための役割特



このセミナーが有意義なだけに、もつと多くの方を参加いただけるよう要望致し次第です。この研修が実あるものにする為、心して実践していきたいと思っております。

をし新しい発想をひきだし多くのアイディアをだす。先ずいくつかのグループをつくり自分を紹介し合う、そこで座長を決め記録係を決めもう一度テーマを良く確認し自由に話し合いに入る。意見を部門別におけ整理しまとめ代表が発表する。最後に講師の先生がまとめ反省し終わったのです。各学校から出席された役員さん是非学校へ戻って今日の勉強を役立て子供たちのためがんばります。始めて参加してPT

A活動を通じて最高の役割をもった感じ。家庭にもどりの新たな角度でみつめなをしたとか、さまざま意見が出て来ました。会は気持ち良く

短時間に充実した研修

鶴城小PTA副会長 藤村レイ子

津方部会

去る十月十二日、県連P主催による「第四回母親セミナー」に出席しました。遠くは川口、田島等と全会津という広い地域からの参加者は、研修が進むにつれて初対面とは思えぬ討議ぶりにお互いが感激し、「単Pでもこのように話し合えないかしら。」と、リーダーとしての悩みや喜びを語り合いました。感想の中から二、三拾ってみますと、研修内容として学習した「会議の進め方」を参考にして、単Pにおける会議の場で大いに活用したい。司会、進行の技術を全員が体得できる時間的な余裕がほしかった。P・T・Aの在り方を学習したい等々積極的な意見が出されました。また、研修会を開く時期、場所方法についても沢山の意見がありました。この時期だからこそ短時間に

進み盛会に終わりました。これから果さなければならぬこと、与えられた仕事は一生懸命やろうと強く心に受けてまいりました。

内容の行事づくりには一杯努力しなければならぬと痛感しました。そして「地域」では、子供会とPTAをつなぐ。子供に注意のできる大人でありたい。憎まれ口にもめげないで注意していきたいと言ふ意見には感銘を受けました。

三つの役割の土台になるのは「家庭」なかも「母親の役割」は何よりも大切です。ところが私たち母親は多忙を理由にならなく無駄はしないで、つい結論を急いでしまいがちです。また、自由に意見は述べても聞き上手

る内容の行事づくりには一杯努力しなければならぬと痛感しました。そして「地域」では、子供会とPTAをつなぐ。子供に注意のできる大人でありたい。憎まれ口にもめげないで注意していきたいと言ふ意見には感銘を受けました。

三つの役割の土台になるのは「家庭」なかも「母親の役割」は何よりも大切です。ところが私たち母親は多忙を理由にならなく無駄はしないで、つい結論を急いでしまいがちです。また、自由に意見は述べても聞き上手

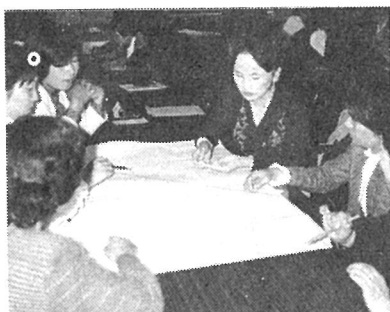
双葉地区 第四回 母親セミナーに参加して

大熊中 松本妙子

去る、十一月四日、県PTA母親リーダーセミナーが、双葉郡大熊町農村環境改善センターを会場に、いわき、双葉、相馬の各地区小中学校からの代表者五十名が参加し盛大に行われました。

「子供の非行化防止をはかるためのPTAの役割は何か」についての研修会でありました。

午前中は講師先生による講義で「会議の進め方」と司会の仕方」また、い



非行の概況」の説明がありました。増加傾向が続き低年齢化（十四・十五歳の少年）が多く、万引き、自転車バイク盗難等が全体の三分の一を占めていること。警察庁がまとめた五十八年度の全国統計が十二月二十九日の朝日新聞一面トップ記事にも出ていました。増加傾向が続き低年齢化（十四・十五歳の少年）が多く、万引き、自転車バイク盗難等が全体の三分の一を占めていること。警察庁がまとめた五十八年度の全国統計が十二月二十九日の朝日新聞一面トップ記事にも出ていました。

午後、テーマに基づいて各班ごとに討議いたしました。私たちの班は中学生を持つ母親だけに活発な意見が出され、この地域も同じ心配や悩み事の多いのに驚かされました。

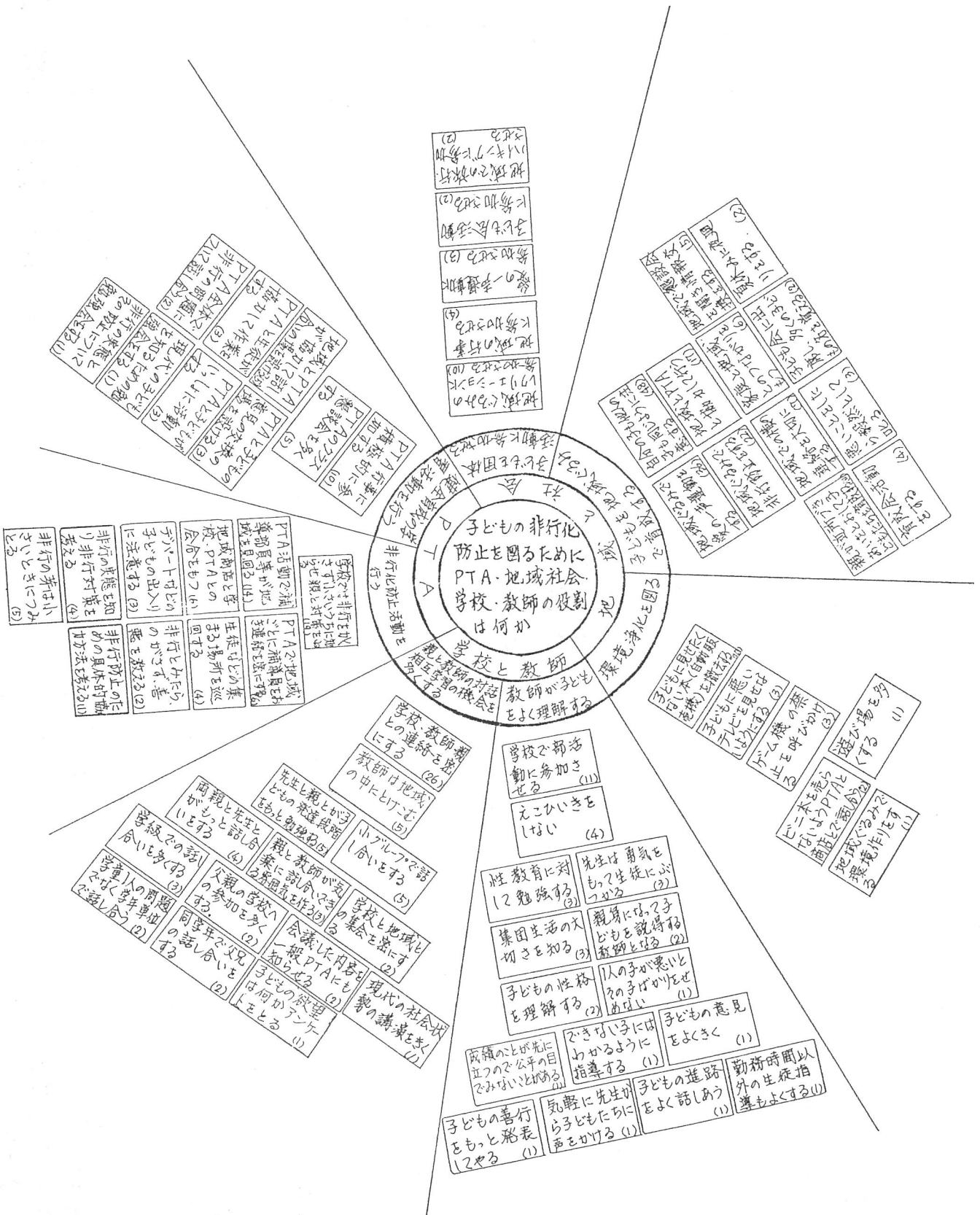
一般に非行に走る主な原因は、「過保護、放任しつけ、金の与えすぎ、親子の対話不足」等でした。智慧のある子育てを心がけたいものです。

私は家庭におります。身体も健康です。今時家に居るなんて勿体ない、どうして外へ出て働かないのか。」などと言われたこともあります。まわりを見ると本当に若いお母さんたちはパートに出て働いておられます。でも私はこの辺に問題があるよ。PTAの会合や行事に積極

母親セミナー 開催の意義

子供の非行化の原因の一つに家庭環境があげられ、母親の役割の大きいことは言をまたない。PTAにおいては、単Pの授業参観日等の出席は母親が九割を越え、PTAの活動も母親が重要な位置をしめておられる。父親の活動もさることながら、今や二十一世紀を担う子供の健全育成に母親が立体的な活動を願うものであり、本会研修委員会の事業として開催している。

第2表 「子供の非行化防止を図るために PTA・地域社会・学校と教師の役割は何か。」



※ 表1・2から考察

- (1) 現在、社会問題化している子供非行化について、母親はいま、どのようにしたら防止できるか、そしてまた、どのように実施したらよいかを、真剣に考えていることがうかがわれる。
- (2) この表の内容から、母親に限らず、一般社会人としても非行化防止を図るために、適切な回答を得ようと思われる。
- (3) 非行防止の資料として、広くご高覧をいただきたい。

佐藤 亮君 (鳥川小二年) から特賞 第七回子供の災害事故防止ポスター

子供の災害事故は年々増加しているが、ことに本年度は、死亡者が激増し、二十八名の尊い命を失ったことは、まことに悲しいことである。県連Pとしても深くこのことを憂慮し、児童生徒の事故防止に正しい認識を持つてもらうために、安全教育の一環として毎年実施している。

このたびも、本会主催、県教委後援による第七回子どもの災害事故防止ポスター募集をしたところ県内小・中学校より四百五十五点の立派な作品が応募された。
去る二月十五日、丸丸毅先生(野田中学校長)、佐藤 恵先生(鳥川小教頭)による審査の結果、次の方が入賞された。

〔小学校の部〕

◆特賞

佐藤 亮 (鳥川小二年)
菊地泰子 (瀬上小三年)

◆金賞

佐藤龍樹 (瀬上小一年)

◆銀賞

斎木 潤 (鳥川小二年)
村岡妙子 (一箕小三年)
成松英次 (瀬上小四年)
石添弘行 (岡山小五年)
長谷川弘行 (鳥川小六年)

◆銅賞

洪谷正樹 (鳥川小一年)
山中玲子 (日新小二年)
小野聡子 (瀬上小三年)
加藤順子 (鳥川小四年)
長谷川規雄 (日新小四年)
今井利枝 (瀬上小五年)
穴澤洋幸 (猪苗代小五年)
菅野 篤 (鳥川小六年)
神楽幸一 (小名浜小一年)

片野まきみ (東館小一年)
井上めぐみ (阿武隈小一年)
島山 淳 (瀬上小二年)
遠藤ひろみ (同 二年)
菅野美智子 (同 三年)
半沢亜紀 (同 三年)
菊地康夫 (同 四年)
深谷純子 (同 四年)
片岡 敦 (鳥川小四年)
半澤陸美 (同 五年)
高橋由希 (同 五年)
渡辺あつみ (瀬上小五年)
泉田真美子 (同 六年)
阿部茂美 (同 六年)
田中博子 (小名浜小一年)

◆佳作

本間しのぶ (鳥川小一年)
渡辺しげみ (阿武隈小一年)
並木たつや (同 一年)
遠藤めぐみ (瀬上小二年)
半沢佳子 (鳥川小二年)
鈴木ひろ子 (阿武隈小二年)
武藤菜穂子 (一箕小三年)
矢吹尚子 (鳥川小三年)
小松恵美 (同 三年)
阿部樹一郎 (瀬上小三年)
坂内香理 (日新小四年)
石井健一 (同 四年)



特賞 佐藤 亮君
の作品 (鳥川小二年)

斎藤千佐子 (瀬上小四年)
鎌田修一 (阿武隈小四年)
渡辺真弓 (鳥川小五年)
菊地貴博 (瀬上小五年)
五十嵐誠 (小名浜小五年)
薄井良金 (阿武隈小五年)
宍戸 明 (鳥川小六年)
阿部高広 (同 六年)

〔中学校の部〕

◆特賞

菅井洋美 (瀬上小六年)
猪狩真一 (同 六年)

◆金賞

佐藤文江 (小平中一年)
猪俣有紀 (北会津中三年)

◆銀賞

富塚裕子 (鏡石中一年)
吉田義広 (小平中一年)
片寄 満 (同 一年)

◆銅賞

長野紀子 (北会津中一年)
高橋由美 (喜久田中一年)
吉田 昇 (小平中二年)

◆佳作

関根のぶ子 (小平中一年)
薬谷 豊 (同 一年)
田嶋正一 (磐崎中二年)
吉田みゆき (同 一年)
星 淳子 (北会津中二年)
渡辺博子 (若松一中二年)

県PTA安全互助会 加入推進をはかろう

県連P安全互助会委員会

県PTA安全互助会は、昭和四十九年七月、県連Pの一事業として創設され、次年度は、十周年を迎えることになった。皆様のご理解とご協力により、年ごとに加入率も上昇し、昭和五十八年度は、県下小・中学校の七〇パーセントに達しようとしている。

事務局だより

六月四日 県連P総会
八月二十四日 日P大会
二五日 青森大会
九月七日 県P大会須賀
八月 川大会
十一月九日 東北P大会
十日 秋田大会

編集後記

学童が加入することによって、学校管理下においては学校健康会で、管理下外においては、県PTA安全互助会で補償するという、一日二十四時間安心して活動できることとなる。またPTA会員は、今後益々PTA活動が多様化し、活発になるにつれて、事故の多発することが考えられる。安心して活動できるため、

○本年最後の会報17号をお届けする。○本号は例年より二頁増で、特に第四回県P母親セミナーについては、四頁にわたって、詳細に報告いただいた。○会長の言葉にもあるが「健全育成団体」を自覚し志向したPTAの活動に少しでも役立てていただければ幸わいである。○しきりに春の来るのが待たれる折、祈ご健斗。